

第 27 回山口市議会議会改革検討協議会 会議報告書

開催日時	令和 3 年 10 月 5 日 (火) 13:30~14:17				
開催場所	第 1 委員会室				
出席者	○会 長 山本貴広 (県都創生山口) ○副会長 湊 和久 (自由民主党山口) ○委 員 馬越帝介、藏成幹也 (自由民主党山口)、瀧川 勉、山下 宏 (県都創生山口)、 山本敏昭 (公明党)、植野伸一 (ふるさと共創やまぐち)、氏永東光 (高志会)、 尾上頼子 (日本共産党)、山見敏雄 (市民クラブ) ○委員外議員 竹中一郎 (地域政党 やまぐちの風)				
記録者	書記 横沼	欠席者	なし	傍聴	(一般) なし (報道) なし

以下のとおり概要を報告します。

1 第 26 回協議会報告書について

- ・副会長から協議内容を説明。出席委員で確認し、修正なし。

2 協議事項

(1) 山口市議会基本条例の検証について

- これまでの取組や議会改革の検討結果等を踏まえた、第 6 章から第 8 章までの各条文に対する各会派からの気づき、意見等について、各委員から報告。

<出された意見等>

●第 6 章 政務活動費

第 14 条 (政務活動費)

- ・広報紙の発行費用に按分の考え方を導入したところの一つの成果。政務活動費の議論において、その用途に関しての説明責任は、議員個人にあることから、透明性のある使い方をするとということも確認された。

●第 7 章 議会の機能強化

第 15 条 (議員研修)

- ・目の前にある課題など、具体的なテーマを絞って研修を行う方がよい。また、政務活動費を使用する研修についても、政務活動費が会派に交付されることを考慮すると、会派としてもテーマを絞って実施する形を取った方が、議員研修としての成果が見えてくる。

第 16 条 (議会事務局)

- ・他自治体では、議会事務局の職員は議会側が選んで、基本的に市長部局には帰さないというところもある。いずれ執行部に戻るとなると執行部に対する忖度が働いてはいけないうし、議員の議会活動の充実のためにそういう体制になっているそうだが、議会で拘束するとなると、階級など職員の権利の問題もあるのでなかなか難しいと思う。

- ・今後、スマート自治体、デジタル行政といったことが進んでいく中で、議会事務局の業務も外部委託やA I化などの整理をされる場合、議員も理解し対応していく必要がある。

#### 第17条（議会図書室）

- ・図書資料を買うことは必要。現状、予算確保が難しいと思うが、例えば、まず議会で議員が調査研究に必要な資料を購入し、時期が来たら一般市民が借りることができるなど図書館とも協力をしてもらい図書資料の充実を図っていくという形があってもよい。
- ・新聞や書籍の電子データの利用が増えてきている。電子データなら図書室にもサイズも余り影響しない。費用面や閲覧権限の課題もあるが、今後、考えていかないといけない。

#### 第18条（議会広報）

- ・市議会だより等編集委員会では、委員の意見をもとに市民に親しみを感じてもらえるような紙面とする取組が出来ている。委員会で意見を出し合いながら、より良いものにしていくという取組は改革が進んでいる。
- ・インターネットの録画配信に字幕を入れるなどの努力も必要。高齢者や難聴者にとっては、テロップや字幕などがあることで、よりわかりやすくなる。内容は議事録を見ることでもわかるが、映像でどのようなしゃべり方をしたのかという様子を知るためにも今後の検討のひとつになってくるのではないか。

### ●第8章 議員の政治倫理

#### 第19条（政治倫理）

（意見なし）

### 3 まとめ及び次回協議に向けた確認事項等

- ・山口市議会基本条例の検証について  
（第3章 市民と議会の関係、第4章 市長と議会の関係）

※次回は、令和3年11月11日（木）午前10時から開催

【第26回会議で確認した令和3年10月26日（火）の協議会は、他会議体の協議の進捗状況を考慮し、11月11日（木）の開催へ延期した】